

2016年1月3日(日)朝10:10～

降誕節第2、オリーブの会等

1月第1聖餐総員共同主日礼拝式説教 日本アライアンス庄原基督教会

説教題：**神から満ち溢れる報いを
受けるようにせよ**

聖書：Ⅱヨハネ 1章7～9節

＜口語訳＞

新約聖書382頁

Ⅱヨハネ 1章7～9節

＜新共同訳＞

新約聖書448頁

Ⅱヨハネ 1章7～9節

＜新改訳第3版＞

新約聖書472頁

Ⅱヨハネ 1章7～9節＜塚本訳＞

新約聖書769～770頁

主題：主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

- ◇ **Ⅱヨハネ書も、グノーシス派等一般に総括的に表現されています人々の主イエス様の神性否定の教えと乱れた生活への警告書簡で、神のみことばそのものであることをヨハネ自身の実体験を通して、神の御子を喜び、あかしすることを求め、神の祝福を祈ります。**
 - ◇ **Ⅱヨハネ書1章1～3節は、父なる神と神の御子主イエス様からの真実の愛を受けとめ、生きる教会であってほしいと、4～6節は、「兄弟愛」を神の教会への「神の掟・命令」であるとの使信を認めたと、ヨハネは語ります。**
 - ◇ **Ⅱヨハネ書1章7～9節は、「兄弟愛」を神の教会の「神信仰の核心」とするのを妨げる反キリストとヨハネが呼ぶ誘惑者への警告をヨハネは語っています。**
- ⇒「**反キリスト**」は、「**グノーシス派**」の人々(7)を意識し、「**イエス・キリストが肉体で来られたことを告白しない誘惑者**」と語っています。
- ⇒「**真理**」を「**真実な神から受けた愛**」と、1～3節で、ヨハネは語りましたが、「**真理のうちに歩む**」(4)、「**兄弟愛の生活**」を妨害するのです。

本論；

◇本日、Ⅱヨハネ書1章7～9節から主の使信に思い・心をとめます。

◆Ⅱヨハネ1章7節；ヨハネは、神の真理の中の歩む人たちを神信仰の核心を否定する教えを持ち込む反キリストについて語ります。

◇7～9節；塚本訳◆反キリストに注意せよ

「7 というのは、イエス・キリストが肉体で来られたことを告白しない誘惑者が、多く(この)世に出てきたのである。これが誘惑者であり、また(最後の日に現われるかの)反キリストである」と、ヨハネは語ります。

◇7節；「**というのは**」、「**イエス・キリストが肉体で来られたことを告白しない誘惑者**」、「**(最後の日に現われるかの)反キリスト**」が、「**多く(この)世に出てきた**」と、ヨハネは語ります。

⇒「**というのは**」は、Ⅱヨハネ書4～6節を直接は受けて、ヨハネが、「**反キリスト・誘惑者**」が力をもって「**多く(この)世に出てきた**」と警告しているのです。

⇔「**反キリスト**」は、**教会から世に出てきました**。

- ⇒「**誘惑者**」の教えは、「**イエス・キリストが肉体で来られたことを告白しない**」と、ヨハネが語るのは、**神信仰**が何を**核心**としているかを知り尽くしたものであることを暗示しています。
- ⇒「**心を尽くして神を愛し、自分を愛するように、隣人を愛せよ**」は、**神の御子、主イエス・キリスト様**が、弟子たちに与えた「**神の掟・命令**」です。
- ⇒**神**によって**創造された人間**が、今も共に生きて下さる**神を愛し、心から服従すること**です。
- ⇒**神**によって**創造された人間**が、互いに**赦し合うこと**です。
- ⇒この「**神の掟・命令**」は、**神に神創造されたすべての人間**への「**命令**」で、「この**命令**」に**服従する人々**は、「**神との交わり**」、すなわち、「**神の永遠のいのち**」を受けるのです。
- ⇒この「**神の掟・命令**」に**服従することを拒む人々**は、「**神との交わり**」＝「**神の永遠のいのち**」に与れないのです。
- ⇒「**誘惑者**」が、「**イエス・キリストが肉体で来られたことを告白しない**」ことで、**十字架の主の死による救い**を否定しているのです。

◆ Ⅱヨハネ1章8節 ;ヨハネは、神からの溢れる真理の中の歩む人たちへの報酬・神信仰への恵みの生活・神との交わり・永遠のいのちを受けるとように勧告しています。

◇ 7～9節 ;塚本訳◆反キリストに注意せよ

「8 自分に気をつけて、わたし達が働いて得たものを失わず、神から満ち溢れる報いを受けるとようにせよ」と、ヨハネは語ります。

◇ 8節 ;「自分に気をつけて」、「わたし達が働いて得たものを失わず」、「神から満ち溢れる報いを受けるとようにせよ」と、ヨハネは語ります。

⇒「自分に気をつけて」は、「自分が所有しているもの・神の恵みが何かを見分ける」ことを求めているヨハネのことばです。

⇒「誘惑者・反キリストの教え」は、「イエス・キリストが肉体で来られたことを告白しない誘惑者の教え」で、「神の真理・愛の神に服従する生活」を否定するものですから、「わたし達が主の教えに従って働いて得たものを失わず」とのヨハネの勧告の通り、神の恵みよりも、自分の判断力を優先させます。

◆ Ⅱヨハネ1章9節;ヨハネは、神からの溢れる真理の中の歩む人たちへの報酬・神信仰への恵みの生活・神との交わり・永遠のいのちを受けるように**勧告の理由**を語っています。

◇7~9節;塚本訳◆**反キリストに注意せよ**

「9 誰でもキリストの教えに留まらず、それを越える者は、(キリストだけでなく)神をももたない。(しかし)キリストの教えに留まっている者は、父をも御子をももっている」と、ヨハネは語ります。

◇9節;「キリストの教えに留まらず、それを越える者は、(キリストだけでなく)神をももたない」、「キリストの教えに留まっている者は、父をも御子をももっている」と、ヨハネは語ります。

⇒「キリストの教えに留まらず、それを越える者は、(キリストだけでなく)神をももたない」が、「**反キリスト・誘惑者・グノーシス派**」の教えの内容です。

⇒「キリストの教えに留まっている者は、父をも御子をももっている」と、ヨハネは語り、「**神から満ち溢れる報いを受けるようにせよ**」との勧告の理由を提示しているのです。

- ⇒「わたし達が働いて得たもの」は、「**霊的祝福**」であり、「**永遠のいのち・死人の甦りの命**」の保証は、**神信仰に生きる人々・教会**の獲得できた「**神の恵みへセド**」です。
- ⇒「**神の恵みへセド**」は、「**神信仰に生きる者の感情、知性、意志に寄り添う神の思い**」ですから、「**神の教会の神信仰の核心**」です。
- ⇒今年の教会の標語は、**マタイ5章7節**で、「**あわれみ深い者は、幸いです。その人たちは、あわれみを受けるからです**」です。
- ⇒**TK師**は、FEBCの機関紙の1面の説教で、実のお姉さんの病床を問安して下さった教会の方々の働きを「**魂への配慮**」の実例として書いて下さっています。
- ⇒このような「**魂への配慮**」が欠落している教会は、「**葬式教会**」になると、警告しておられます。
- ⇒「**イエス・キリストが肉体で来られた**」神の恵み・「**魂への配慮・神のへセド**」によって、「**あわれみ深い者**」に造り変えて下さいました。
- ⇒この**神の恵み**を失わないためには、それを保持する発想よりも、「**へセドの神と共に生きる実践生活**」が、「**誘惑者**」に勝利させる。

結論；

- ◇ **神**は、変わらない愛と思いやりの神です。
 - ◇ **Ⅱヨハネ書**も、**グノーシス派**等一般に総括的に表現されています人々の**主イエス様の神性否定の教えと乱れた生活への警告書簡**で、**神のみことばそのもの**であることをヨハネ自身の**実体験**を通して、**神の御子を喜び、あかしすることを求め、神の祝福を祈ります。**
 - ◇ **Ⅱヨハネ書1章1～3節**は、**父なる神と神の御子主イエス様からの真実の愛**を受けとめ、**生きる教会**であってほしいと、**4～6節**は、「**兄弟愛**」を**神の教会への「神の掟・命令」**であるとの**使信**を認めたと、ヨハネは語ります。
 - ◇ **Ⅱヨハネ書1章7～9節**は、「**兄弟愛**」を**神の教会の「神信仰の核心」**とするのを妨げる**反キリスト**とヨハネが呼ぶ**誘惑者への警告**をヨハネは語っています。
- ⇒ **世への勝利は、神の御子キリストの勝利**です。
- ⇒ **「心を尽くして神を愛し」、「自分を愛するようにあなたの隣人を愛する」**が**神の愛の掟**。
- ⇒ **「わたし達が働いて得たものを失わず」、「神から満ち溢れる報いを受けるようにせよ」**。